

笑顔は誰かの力になる。 「笑いあふれる」環境構築を実現

公明党 鈴木ひでし

皆様におかれましては、様々な取組みで、新たな価値が創り出され、穏やかな新年をお迎えのに浸透させていくと期待することお慶び申し上げます。新しい年のスタートとなり、取組は立ち止まらず、県が企業等と連携した、笑顔あふれる取組がスタートしましたのでご報告します。

これは、私が一昨年6月の県議会本会議の一般質問において、企業等と連携することで「笑いあふれる」環境を構築する取組みを提案したことを受け、多くの関係者のご協力のもと、具体化されたものです。

今からさかのぼること7年前、知事は「笑いあふれる100歳時代」を掲げ、3期目の当選を機に、県民の皆様が「笑いあふれる」ように、日常生活において、健康に良い影響を与えることが多くの研究で明らかにされています。笑う頻度が多い人ほど、疾患リスクが低いといった調査結果も公表されており、日常生活において、

そうした機会を増やすことが求められています。

企業等との連携・共創を

しながら、

こうした取組みは県だけで対応するのではなく、例えば県と包括協定を締結している企業と連携すること

多くの関係者を巻き込むことで、ちょっとした工夫が生み出されたり、笑いに触れる機会が増加するなど、結果として、目指す姿の実現に向けた近道になるのではないかと考え、今回の提案に至りました。

私からのこのような提案に対し、知事からは、「こうした取組に賛同する企業と連携して、様々なフィールドで展開すること、より多くの笑いあふれる環境の構築を進めていく」という答弁がありました。それを受け、AIを活用してカメラで検知した笑顔の数に応じ、賛同した企業から募ったお金を寄付に充てる取組を行っている団体と、子育て支援などの分野で包括連携協定を締結する企業とが連携した取組が、先月12月に神奈川県立こども医療センターで実施されました。

うにカメラに向かい、多くの笑顔を見せてくれるなど、とても温かい雰囲気生まれ、イベントの盛り上げに一役買ったと伺っています。

また、こども医療センターで使われている玩具は、ネットショッピングのアマゾンの「ほしい物リスト」を活用するなど、広く寄付を募って購入しています。このことを広く知ってほしいという想いもあって今回の実施につながりましたが、カメラ設置時に来院者から「これがこども医療センターの寄付になるんだ」と声が上がり、寄付の周知を含んだ笑顔の広がりが実際に生まれています。

笑顔は誰かの力になる、笑顔が次の笑顔を生むとても素晴らしい取組みに育つ予感がします。

笑いあふれる社会の実現を

笑顔が次の笑顔に

県内唯一の小児専門病院として、難治性疾患等に対する高度・専門医療を提供している「こども医療センター」では、毎年クリスマスイベントが行われていますが、今回はそのタイミングに合わせて、笑顔を検知できるカメラを設置し、笑顔を計測しました。

現場では、子どもたちだけでなく職員も楽しそ



笑顔検知のカメラに子どもたちも興味津々



職員も楽しみ、温かい雰囲気



モットーは「まかせて安心！いのちと生活を守る！鈴木ひでし」。
第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。防災警察常任委員会、デジタル・新産業・健康特別委員会
<http://www.hideshi-suzuki.com/>